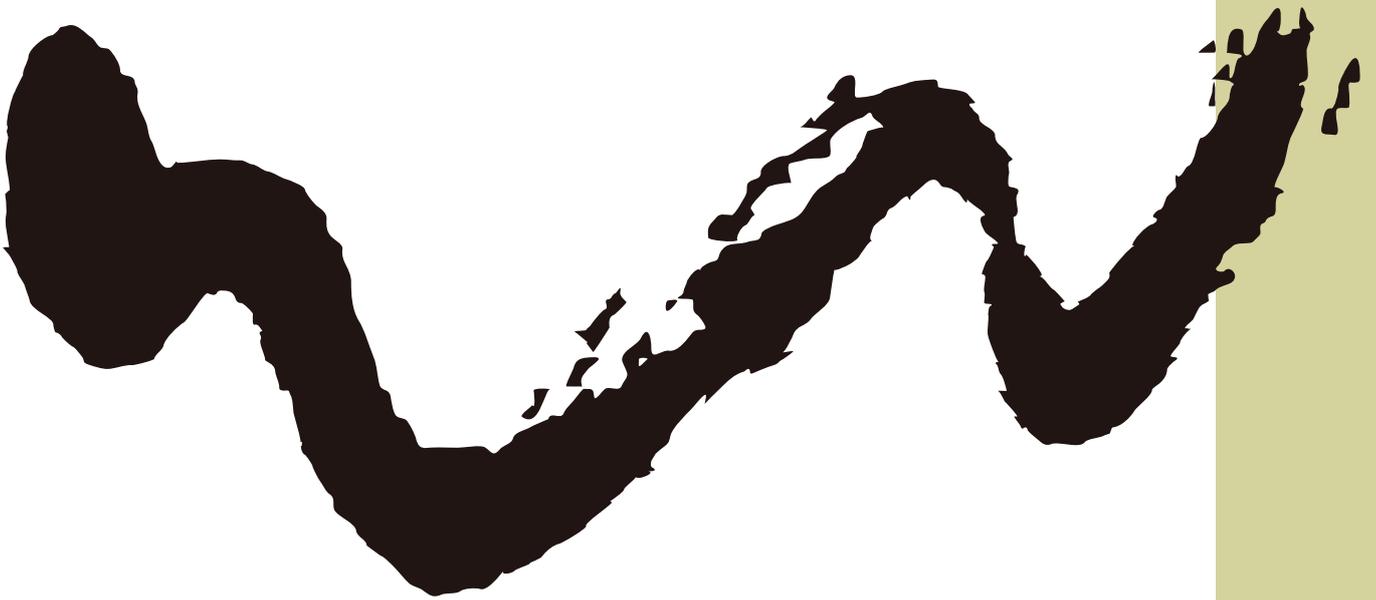


平成24年4月1日～9月30日

# 大信2012年度上半期ディスクロージャー



大東京信用組合



理事長 安田 真次

### ごあいさつ

皆さまには、平素より大東京信用組合に対しまして格別のご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

本年も、私ども「大信」に対するご理解を一層深めていただけますよう「大信2012年度上半期ディスクロージャー」を作成いたしましたので、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

おかげさまで当組合は本年9月6日に創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さまや地域の皆さま方のあたたかいご支援、お引き立ての賜と、深く感謝申し上げます。

これからも、皆さまとの「心・ふれあい」を通したおつき合いを大切にしつつ、お客さまのお役にたつ諸施策の実施を進め、地域社会の更なる発展に資するべく努めてまいります。

何とぞ、皆さまの旧に倍するご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月



大東京信用組合本店

### CONTENTS

ごあいさつ、目次	1
おかげさまで創立60周年	2
平成24年9月期の業績	3
財務諸表	5
大信の金融円滑化法への取組み	6
大信の地域密着型金融への取組み	7
バーゼルⅡへの取組み	8
お客様満足度向上への取組み	11
地域貢献活動&トピックス	12
店舗一覧	15

### 組合概要

所在地	東京都港区東新橋2-6-10
設立	1952年(昭和27年)9月6日
出資金	13,147百万円
組合員数	94,564名
総資産	531,471百万円
預金積金残高	505,379百万円
貸出金残高	308,991百万円
店舗数	43店舗(うち出張所3)
職員数	651名
自己資本比率	7.62% (計数は平成24年9月末現在)

表紙の文字は、本店営業部ロビー壁面に描かれている「心」という字です。創業者森下長平の「心」に込めた想いが、以下のように、プレートには刻み込まれています。「ここは海であり空である。複雑な現代社会において、最も大切な澄んだ心、豊かな心。そこから人と人との確かな信頼が生まれる。大信はこんな願いをこめて「心」をロビーの壁面に刻み込みました。」

# おかげさまで創立60周年

## これからも皆様とともに歩み続けます

### 大信は創立60周年を迎えることができました

当組合は平成24年9月6日に創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さまや地域の皆さま方のあたたかいご支援、ご愛顧の賜と心より厚くお礼申し上げます。



創立60周年記念式典 (平成24年6月26日 経団連会館国際会議場)

創立60周年記念式典を、千代田区大手町の経団連会館国際会議場において開催いたしました。

来賓の方々や総代・評議員、お取引先様300余名をお迎えして、安田理事長の開式挨拶の後、来賓の方々よりご祝辞をいただき、盛会裡に閉会しました。

創立60周年記念事業の一環として、平成24年4月10日に八王子市芸術文化会館(いちようホール)で行われた「市川高嶺&ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団演奏会」を特別協賛しました。

当日はミロスワフ・ブワシュチック指揮によるモーツァルト：歌劇「魔笛」K.620より序曲、モーツァルト：交響曲第38番二長調K.504「プラハ」、ピアノの市川高嶺さんによるシューマン：ピアノ協奏曲イ調 Op.54の3曲が演奏されました。

今回の試みはクラシックコンサートを協賛することによる文化の振興を通じた社会貢献活動として企画したものであり、東日本大震災で被災され八王子市に避難されている方や市内の高校生・大学生、そして地域住民の方など550名をご招待いたしました。



演奏中の市川高嶺&ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団

### 様々なキャンペーン商品を発売しました

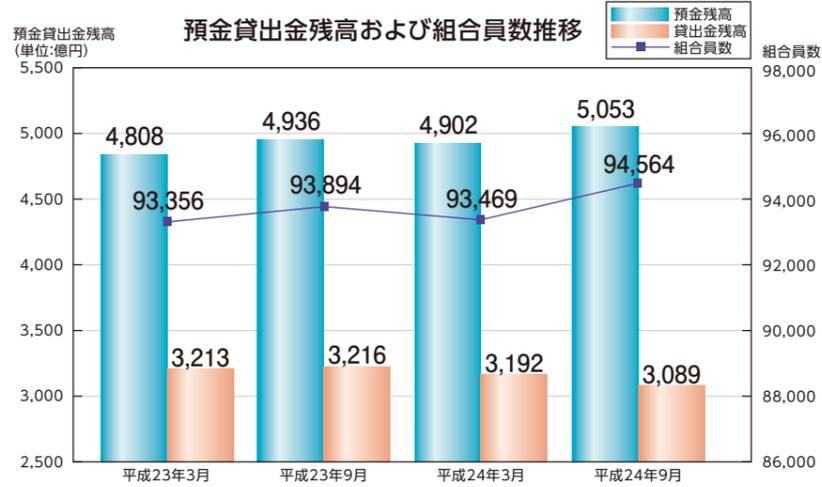


おかげさまで、創立60周年を迎えました



# 平成24年9月期の業績

## 預金は5,000億円を突破しました

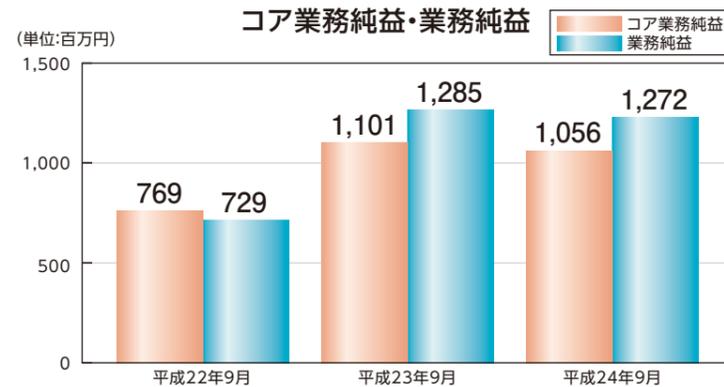


(注) 貸出金は平成18年3月期から部分償却を実施しており、償却後の残高となっております。

預金は、前年同期に対し117億円増加(2.3%)の5,053億円と、5,000億円を突破いたしました。貸出金につきましては、長引く景気の低迷等から3,089億円と前年同期を下回りました。

また、組合員数は前年同期に対し670名増加し、個人・法人総数94,564名となり、普通出資金は前年同期に対し5億67百万円増加し、115億97百万円となりました。

## コア業務純益は10億56百万円を確保しました



厳しい経営環境の下、業務純益は12億72百万円、コア業務純益は10億56百万円とほぼ前年同期の水準を確保しております。

**コア業務純益とは**  
業務純益から国債等債券の売却損益や一般貸倒引当金繰入額を除いた本来業務での収益力を表わす指標です。



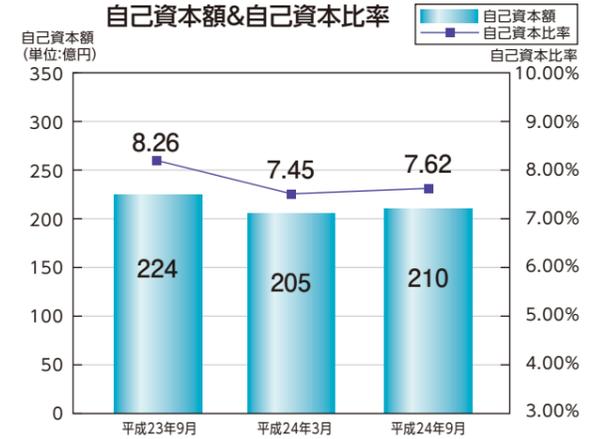
## 自己資本比率は7.62%で健全性を維持しております

(単位: 百万円)

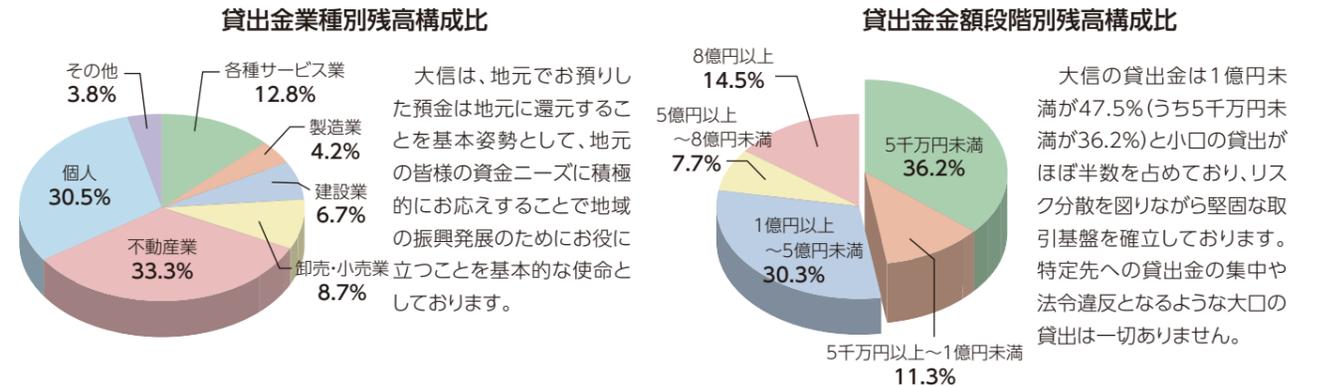
項目	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末
自己資本比率	8.26%	7.45%	<b>7.62%</b>
自己資本額	22,477	20,554	<b>21,087</b>
- 基本的項目	20,727	18,888	<b>19,614</b>
- 補完的項目	1,750	1,666	<b>1,472</b>
- 控除項目	0	0	-
リスク・アセット	272,002	275,848	<b>276,637</b>

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額 (21,087)}}{\text{リスク・アセット (276,637)}} \times 100 = 7.62\%$$

※リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスクウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額です。  
※基本的項目に導入した普通出資金の額は、平成23年9月末では263百万円、平成24年9月末では232百万円(9月末時点における脱退予定分)を各々控除しています。



## 貸出は小口多数で各業種に分散、リスクに強い取引基盤を確立しております



## 不良債権比率は4.79%の低水準を維持しております

(単位: 百万円、%)

区分	平成24年3月末					平成24年9月末				
	債権額(A)	担保・保証等(B)	貸倒引当金(C)	保全率(B+C)/A	構成比	債権額(A)	担保・保証等(B)	貸倒引当金(C)	保全率(B+C)/A	構成比
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	4,694	4,680	14	100.00	1.5	5,164	5,060	104	100.00	1.7
危険債権	8,032	6,520	847	91.73	2.5	7,783	6,138	974	91.37	2.5
要管理債権	466	304	25	70.60	0.1	1,917	1,759	21	92.85	0.6
不良債権計	13,193	11,505	887	93.92	4.1	14,865	12,957	1,099	94.56	4.8
正常債権	307,277	-	-	-	95.9	295,229	-	-	-	95.2
合計(総与信)	320,471	-	-	-	100.0	310,095	-	-	-	100.0

(注) 1. 債権額(与信額)は貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金および債務保証見返)を含んでおります。  
2. 金額は単位未満を切り捨て・構成比は小数点第2位を四捨五入して第1位までを表示しております。

## 有価証券運用は安全性を重視しております

(単位: 百万円)

項目	取得原価	時価	貸借対照表価額	評価損益	
有価証券	満期保有目的の債券	6,599	6,643	6,599	43
		19,599	19,622	19,599	22
	平成24年9月末	<b>29,598</b>	<b>29,605</b>	<b>29,598</b>	<b>7</b>
有価証券	その他の有価証券	4,948	4,279	4,279	△669
		21,816	21,433	21,433	△382
	平成24年9月末	<b>21,267</b>	<b>20,554</b>	<b>20,554</b>	<b>△713</b>
有価証券	計	11,548	10,923	10,879	△625
		41,416	41,055	41,033	△360
	平成24年9月末	<b>50,866</b>	<b>50,160</b>	<b>50,152</b>	<b>△706</b>

(注) 1. 「その他の有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他の有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としておりますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。  
2. 本表に掲げる取得原価は、償却原価から減損処理額(該当額が発生した場合)を控除した後の残高を計上しております。

# 平成24年9月期 仮決算状況

## 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部				負債および純資産の部			
科目	平成24年9月	平成23年9月	平成24年3月	科目	平成24年9月	平成23年9月	平成24年3月
(資産の部)				(負債の部)			
現金	6,296,684	6,009,209	5,853,268	預金積金	505,379,229	493,659,806	490,206,770
預け金	152,192,359	167,863,017	136,185,844	借入金	1,140,000	1,140,000	1,140,000
買入金銭債権	-	1,250	750	その他負債	2,807,430	2,235,683	3,365,145
有価証券	50,152,583	10,879,449	41,033,323	退職給付引当金	1,187,622	1,193,595	1,202,725
貸出金	308,991,041	321,663,767	319,254,206	役員退職慰労引当金	245,332	210,413	230,320
その他資産	2,824,597	2,957,906	2,980,847	睡眠預金払戻損失引当金	18,682	17,998	18,682
有形固定資産	9,189,027	9,349,671	9,305,735	偶発損失引当金	6,814	6,686	8,094
無形固定資産	1,883,888	1,892,493	1,892,771	再評価に係る繰延税金負債	143,012	160,664	143,012
繰延税金資産	850,431	590,930	759,656	債務保証	840,906	1,050,965	959,412
債務保証見返	840,906	1,050,965	959,412	<b>負債の部合計</b>	<b>511,769,030</b>	<b>499,675,813</b>	<b>497,274,164</b>
貸倒引当金	△1,750,137	△1,699,689	△1,647,167	(純資産の部)			
(うち個別貸倒引当金)	(△1,078,356)	(△978,033)	(△895,819)	出資金	13,147,982	12,580,304	12,673,137
<b>資産の部合計</b>	<b>531,471,383</b>	<b>520,558,970</b>	<b>516,578,646</b>	普通出資金	11,597,982	11,030,304	11,123,137
				優先出資金	-	1,050,000	-
				その他の出資金	1,550,000	500,000	1,550,000
				資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				利益剰余金	5,649,143	7,360,011	5,487,295
				組合員勘定合計	19,847,125	20,990,315	19,210,432
				評価・換算差額等合計	△144,772	△107,158	94,050
				<b>純資産の部合計</b>	<b>19,702,352</b>	<b>20,883,157</b>	<b>19,304,482</b>
				<b>負債および純資産の部合計</b>	<b>531,471,383</b>	<b>520,558,970</b>	<b>516,578,646</b>

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 部分償却は平成24年9月期4,354百万円、平成23年9月期4,305百万円、平成24年3月期は4,217百万円となっております。  
 3. 「その他の出資金」1,550百万円は、平成19年12月10日に行った旧東京建設信用組合との合併により承継した優先出資金500百万円を平成20年3月28日に、平成14年3月29日に発行した優先出資金1,050百万円を平成23年10月3日にそれぞれ消却した後に振替えたものであります。

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	平成24年9月	平成23年9月	平成24年3月	科目	平成24年9月	平成23年9月	平成24年3月
経常収益	5,216,197	5,405,772	10,626,592	特別利益	61,468	159,893	161,762
資金運用収益	4,829,906	5,062,981	9,983,235	特別損失	22,840	4,076	4,083
貸出金利息	4,259,700	4,491,597	8,921,288	税引前当期純利益	734,621	921,207	898,422
預け金利息	403,846	428,952	844,891	法人税・住民税及び事業税	249,680	8,720	17,440
有価証券利息配当金	98,386	76,730	151,350	法人税等調整額	1,502	295,070	23,508
その他の受入利息	67,972	65,699	65,704	法人税等合計	251,183	303,790	40,948
役員取引等収益	236,408	246,293	464,064	当期純利益	483,437	617,417	857,473
その他業務収益	146,093	91,908	128,066	繰越金(当期首残高)	497,705	485,462	485,462
国債等債券売却益	136,377	89,811	92,836	優先出資消却積立金取崩額	-	-	2,112,772
その他の業務収益	9,715	2,097	35,230	自己優先出資消却額	-	-	2,112,772
その他経常収益	3,789	4,588	51,225	当期末処分剰余金	981,143	1,102,880	1,342,936
経常費用	4,520,203	4,640,382	9,885,849				
資金調達費用	270,193	467,606	822,455				
預金積金利息	261,271	458,697	804,635				
借入金利息その他	8,921	8,909	17,820				
役員取引等費用	178,389	172,459	344,307				
その他業務費用	284	3,204	3,582				
経費	3,730,002	3,752,593	7,534,833				
その他経常費用	341,333	244,518	1,180,669				
経常利益	695,993	765,389	740,743				

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 平成24年3月期より、「償却債権取立益」の表示区分が「特別利益」から「その他経常収益」へと変更になりました。このため、平成23年9月期についても比較しやすいよう、上記と同様の表示をいたしました。

(本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。)

# 大信の金融円滑化法への取組み

## 貸付けの条件の変更等の実施状況について(平成24年9月末時点)

平成21年12月4日に施行されました「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の「貸付けの条件の変更等」について、平成24年9月末の実施状況(平成21年12月4日から平成24年9月末までの累積件数及び累積額)を公表いたします。  
 ※なお、同法律は平成24年3月までの時限立法でしたが、平成25年3月31日まで延長となっております。

### ○法第4条に基づく措置の実施状況(平成21年12月4日～平成24年9月30日)

【お客様が中小企業者の場合】

(単位：件、百万円)

	平成24年9月末	
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	10,950	161,807
うち、実行に係る貸付債権	10,302	153,097
うち、謝絶に係る貸付債権	78	968
うち、審査中の貸付債権	89	1,111
うち、取下げに係る貸付債権	481	6,629
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権	7,967	59,604
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権	68	572

### ○法第5条に基づく措置の実施状況(平成21年12月4日～平成24年9月30日)

【お客様が住宅資金借入者である場合】

(単位：件、百万円)

	平成24年9月末	
	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	341	7,257
うち、実行に係る貸付債権	317	6,799
うち、謝絶に係る貸付債権	2	13
うち、審査中の貸付債権	3	106
うち、取下げに係る貸付債権	19	339

【窓口の1】 当組合40カ店の営業店と3カ所の出張所全てに「中小企業等金融円滑化法に係る『ご相談窓口』」を設置し、お客様からのご相談やお問い合わせなどにお気軽に対応させていただける態勢としております。  
 (15頁に、店舗の電話番号を一覧表示しております)

【窓口の2】 当組合の本部とお客様とのホットラインの役目を担う、本店の1階に設置してあります「お客様相談室」内に金融円滑化に係る「相談窓口」と「苦情・要望等の受付窓口」を設け、ご相談やお問い合わせに真摯に対応できる態勢を整えております。

金融円滑化専用フリーダイヤル：0120-020-838

(受付時間9：00～17：00 ただし、当組合の休業日を除く)

# 大信の地域密着型金融への取組み(24年9月期)

## 【当組合の基本方針】

当組合は、地域密着型金融への取組みを恒久的な課題とし、組合員、お取引先の皆様との「心・ふれあい（ハート・トゥ・ハート）」の信頼関係を大切にして、信用組合ならではの独自性の発揮と機能強化に取組んでまいりました。  
これからも、より一層の良質な金融サービスの提供と金融仲介機能、コンサルタント機能を発揮した金融円滑化の推進と地域経済の活性化に取組んでまいります。

## 【平成 24 年度の主な取組みと進捗状況】

### ■ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

<b>創業・新事業支援</b>	創業・新事業支援については、外部機関と連携し、創業・新事業支援に取組んでおります。	・創業・新事業融資実績 8件、42百万円
<b>経営改善支援</b>	お取引先と目線を合わせ経営改善支援と健全債権化に向け本部所管部・営業店と連携してランクアップに努めております。 また、外部専門家と連携し、経営課題解決や経営改善支援にも取組んでおります	・経営改善取組み先：124先 ・経営改善支援取組み率：7.9% ・ランクアップ先数：3先 ・ランクアップ率：2.4% ・再生計画策定先：123先
<b>事業再生</b>	コンサルタント等外部専門家を活用して、経営不振に陥った先に対する持続可能性ある事業の再構築、過剰債務となっている中小企業等の再生等に取組んでおります。	・事業再生目的融資実績 3件、995百万円 ・当初（16年3月）からの実績（累計） 224件、44,764百万円

### ■事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

企業の将来性、技術力を的確に評価できる「目利き機能」能力等を向上させるため、お取引先とのコミュニケーション力を高める研修等を実施しました。 また、協同組織金融機関の果たすべき役割を再認識し、中小企業金融の円滑化に取組んでおります。	・各種融資研修を実施し、職員のレベルアップに取組みました。 新任店舗長・次長研修(人事部と連携) 監査法人講師による経営改善計画書策定研修(67名参加) 融資部トレーニーの定期的な実施(14名参加) 調査業務担当者研修(30名参加)
--	--

### ■地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域の皆様のニーズにお応えするため、各地域での活動、経営情報の提供、セミナーの開催、店舗施設の開放等より良いサービスの提供ができるよう取組んでおります。主な取組みは下記のとおりです。

- 中小企業事業者セミナーを10月より5ブロックで開催いたします。
  - ▶第1部：独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携による事業承継対策セミナー  
テーマ：「中小企業経営者のための事業承継対策～事業を次世代につなげる経営～」
  - ▶第2部：事業先の後継者及び若手経営者との紐帯強化・組織化を目的とした意見交換及び交流会の実施
- 金融犯罪への注意喚起及び振り込み詐欺被害の未然防止と被害者救済に取組み、積極的なお客さまへの声掛け等により、上期6件(累計42件)の被害の未然防止につながりました。
  - ▶「融資保証金詐欺、インターネット犯罪、偽造・盗難キャッシュカード対策」等金融犯罪への注意喚起をホームページに掲載
  - ▶「振り込み詐欺救済法に基づく被害回復分配金申請」のご案内をホームページに掲載
- 平成21年12月4日施行の「中小企業金融円滑化法」に係る「相談窓口」を設置し、お客さまと目線を合わせて貸付けの条件の変更等に対して適切かつ積極的に取組んでおります。
- 平成22年7月8日より、インターネットを利用し365日24時間申込み可能な目的型消費者ローンの取扱いを開始し、23年10月からはフリーローンの取扱いもしております。
- 「しんくみネット」ご利用のご案内と加盟店募集
  - ▶組合員の皆様がいしんくみネット加盟店でお買い物、お食事等をされる際に、「組合員証」を提示することにより、各種割引サービス等の特典を受けることができる組合員の方のためのサービスネットワークです。
  - ▶全組合員に「組合員証」をお送りすると共に、当面1,000店を目標に加盟店を募集しております。(10月18日現在：652店)

※その他の取組みについても、12ページ以降に掲載しておりますのでご覧ください。

# バーゼルⅡへの取組み

## 自己資本の充実の状況について (新BIS規制による開示状況について)

### 【定性的な開示事項】

#### 1.自己資本調達手段の概要

自己資本は、基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)で構成されています。平成24年9月末の自己資本額のうち、基本的項目としては、当組合が積み立てているもの以外のものは、地域のお客様からお預かりしている出資金が該当します。また、補完的項目としては、全信組連から借入している期限付劣後ローンがあります。

#### 2.自己資本の充実度に関する評価方法の概要

自己資本の充実度に関しましては、自己資本比率(7.62%)はもちろんのことTier1比率(7.09%)の状況についても、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を充分保っております。また各エクスポージャーが一分野に集中することなく、リスク分散が図られておりと評価しております。  
将来の自己資本充実策については、年度ごとに掲げる収支計画に基づく着実な利益による資本の積上げを第一義的な施策としております。

#### 3.信用リスクに関する方針および手続きの概要

信用リスクとは、取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当組合が損失を受けるリスクをいいます。当組合では、与信業務の基本的な理念や手続き等を明示した「クレジット・ポリシー」を制定し、広く職員に理解と遵守を促すとともに、貸倒引当金は、「自己査定要綱」及び「償却・引当基準」に依拠し、自己査定における債務者区分ごとに計算された貸倒実績率を基に適正に計上しております。各種リスクの中でも信用リスクが最重要のリスクであることの認識を徹底する態勢を構築しております。

#### 4.信用リスク削減手法に関するリスク管理の方針および手続きの概要

信用リスク削減手法とは、組合が抱えている信用リスクを軽減化するための措置で、具体的には、預金担保、有価証券担保、保証、貸出金と自組合預金の相殺などが該当します。その手続きについては、組合が定める「融資業務取扱要綱」等により、適切な事務取扱い及び適正な評価を行っております。

#### 5.オペレーショナル・リスクに関する項目

##### (1)リスク管理の方針および手続きの概要

当組合ではオペレーショナル・リスクを「業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切であること、外生的な事象により損失を被るリスク」と位置づけております。

当組合は、オペレーショナル・リスクについて、事務リスク、システムリスク、法

務リスク、人的リスク、有形資産リスク、風評リスクと認識し、管理態勢の整備に努めており、事務・システムリスク等の各種リスク管理方針によりリスク管理をしております。

##### (2)オペレーショナル・リスク相当額の算出に使用する手法の名称

当組合は基礎的手法を採用しております。

#### 6.銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関するリスク管理の方針および手続きの概要

銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーにあたる主なものは、上場株式、非上場株式、株式関連投資信託が該当しますが、そのうち、上場株式、投資信託にかかるリスクの認識については、時価評価および最大予想損失額(VaR)によるリスク計測によって把握するとともに、運用状況に応じてALM委員会に諮り投資継続の是非を協議するなど、適切なリスク管理に努めております。

#### 7.銀行勘定における金利リスクに関する事項

##### (1)リスク管理の方針及び手続きの概要

金利リスクとは、市場金利の変動によって受ける資産価値の変動や将来の収益性に対する影響を指します。  
当組合においては、双方とも定期的な評価・計測を行い適宜、対応を講じる態勢としております。

##### (2)金利リスクの算定手法の概要

計測手法は、以下の定義に基づいて算定しております。

- ・資産・負債とも金利更改ラダー表を使用したその他計算方式による再評価法により、現時点の市場金利から作成したイールドカーブと金利変動後の二つで計算した現在価値の差額をとり、直接「金利ショック下での現在価値変動額」を計算する方法。
- ・コア預金の対象:要求払預金(当座・普通・貯蓄等)  
算定方法:①過去5年の最低残高、②過去5年の最大年間流出量を現残高から差引いた残高、③現残高の50%相当額。  
以上3つのうち最小の額を上限とする。  
満期:5年以内(平均2.5年以内)
- ・金利感応資産・負債  
預貸金、有価証券、預け金、その他の金利・期間を有する資産・負債
- ・金利ショック幅：99%タイル又は1%タイル値
- ・リスク計測の頻度:四半期(前月末基準)

### 【定量的な開示事項】

#### (1)自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	平成23年9月末		平成24年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
①信用リスク・アセット・所要自己資本の総合計	254,948	10,197	259,635	10,385
イ.標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	254,948	10,197	259,635	10,385
(Ⅰ)ソブリン向け	3,171	126	2,812	112
(Ⅱ)金融機関および第一種金融商品取引業者向け	35,731	1,429	34,168	1,366
(Ⅲ)法人向け	37,551	1,502	38,955	1,558
(Ⅳ)中小企業等・個人向け	30,037	1,201	30,587	1,223
(Ⅴ)抵当権付住宅ローン	13,013	520	12,205	488
(Ⅵ)不動産取得等事業向け	94,488	3,779	93,693	3,747
(Ⅶ)三ヶ月以上延滞等	4,939	197	8,842	353
(Ⅷ)その他	36,013	1,440	38,370	1,534
ロ.証券化エクスポージャー	0	0	-	-
②オペレーショナル・リスク	17,054	682	17,001	680
③単体総所要自己資本額(①+②)	272,002	10,880	276,637	11,065

- (注) 1.所要自己資本の額=リスク・アセット額×4%  
2.[エクスポージャー]とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。  
3.[ソブリン]とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、わが国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会等のことです。  
4.[三ヶ月以上延滞等]とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
5.[その他]とは(Ⅰ)～(Ⅷ)に区分されないエクスポージャーで、法人以外の名寄せ後1億円超、その他資産、有形・無形固定資産、繰延税金資産等が含まれます。  
6.オペレーショナル・リスクは、当組合は基礎的手法を採用しています。
- <オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>  

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

※粗利益の算出は、「粗利益-債券5勘定戻」で求めます
- 7.単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

(2)信用リスクに関する事項(証券化エクスポージャーを除く)(定量的な情報)

①信用リスクに関するエクスポージャーおよび主な種類別の期末残高

<業種別および残存期間別>

(単位:百万円)

業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高											
	エクスポージャー区分		貸出金、コミットメントおよびその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		債券		その他		デリバティブ取引		三月以上延滞エクスポージャー	
	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末
製造業	16,563	18,285	15,995	13,526	-	4,162	-	7			567	589
農業・林業	19	12	19	12	-	-	-	-			-	-
漁業	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
鉱業、採石業、砂利採集業	-	299	-	-	-	299	-	0			-	-
建設業	25,545	23,037	24,521	21,723	-	-	-	-			1,023	1,313
電気、ガス・熱供給・水道業	1,818	3,064	1,818	1,758	-	1,298	-	4			-	2
情報通信業	5,182	3,429	5,135	3,417	-	-	-	-			47	11
運輸業・郵便業	3,895	4,523	3,640	3,185	-	1,084	-	4			255	250
卸売業・小売業	31,393	31,058	30,650	29,002	-	1,476	-	1			742	578
金融業・保険業	176,902	163,544	747	732	7,998	10,399	168,156	152,412			-	-
不動産業	117,086	117,422	114,527	111,828	-	798	-	1			2,558	4,793
不動産業	37,619	36,890	36,644	34,629	-	798	-	1			974	1,460
不動産業賃貸業	68,079	68,238	67,198	66,031	-	-	-	-			880	2,206
マンション戸建分譲業	11,387	12,292	10,684	11,166	-	-	-	-			703	1,125
物品賃貸業	226	31	226	31	-	-	-	-			0	-
学術研究、専門・技術サービス業	2,497	2,437	2,433	2,254	-	-	-	-			63	182
宿泊業	3,645	3,321	3,530	3,321	-	-	-	-			114	-
飲食業	15,788	15,228	15,703	15,185	-	-	-	-			85	43
生活関連サービス業、娯楽業	10,193	9,991	10,193	9,228	-	-	-	-			-	763
教育、学習支援業	362	137	362	135	-	-	-	-			-	1
医療、福祉	3,998	704	3,967	688	-	-	-	-			31	15
その他サービス	14,872	16,056	14,348	15,298	-	300	-	0			523	456
国・地方公共団体等	1,326	27,790	326	292	999	27,496	0	0			-	-
個人	72,186	72,118	70,798	71,047	-	-	-	-			1,387	1,070
その他	23,056	25,003	920	1,703	-	-	22,135	23,299			-	-
業種別合計	526,562	537,499	319,870	304,375	8,997	47,316	190,292	175,732			7,401	10,074
1年以下	360,270	386,401	249,354	243,055	4,199	28,998	105,222	110,529				
1年超3年以下	57,035	38,598	32,589	28,852	3,400	2,677	21,000	7,000				
3年超5年以下	51,677	49,274	16,618	15,156	1,398	7,294	33,600	26,600				
5年超7年以下	9,784	14,545	9,784	10,148	-	2,396	-	2,000				
7年超10年以下	15,898	13,693	7,898	4,943	-	5,750	8,000	3,000				
10年超	1,773	4,222	1,773	1,022	-	200	-	3,000				
期間の定めのないもの	8,265	8,877	588	144	-	-	1,921	2,822				
現金その他	21,856	21,885	1,262	1,052	-	-	20,548	20,781				
残存期間別合計	526,562	537,499	319,870	304,375	8,997	47,316	190,292	175,732				

- (注) 1.「貸出金、コミットメントおよびその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引」とは、貸出金の期末残高(三月以上延滞エクスポージャーを控除した額)の他、当座貸越等のコミットメントの与信相当額、デリバティブ取引を除くオフ・バランス取引の与信相当額の合計額です。
- 2.「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3カ月以上延滞しているエクスポージャーのことです。
- 3.エクスポージャー区分の「その他」には、業種区分に分類することが困難なエクスポージャーを含んでおります。具体的には、現金、預け金、株式、投資信託、その他資産等、有形・無形固定資産、繰延税金資産が含まれております。
- 4.当組合は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。
- 5.残存期間は金利満期(次の金利更改期を満期とする)としております。
- 6.残存期間別の「現金その他」の項には、債務保証見返の残高を含みます。

②一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高および期中の増減

(単位:百万円)

	期首残高		期末残高	
	平成23年9月末	平成24年9月末	平成23年9月末	平成24年9月末
一般貸倒引当金	818	751	721	671
個別貸倒引当金	1,238	895	978	1,078
合計	2,056	1,647	1,699	1,750

(注) 平成17年度より、部分償却を実施し、その額は23年9月末4,305百万円、24年9月末4,354百万円です。

③リスク・ウエイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

(単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウエイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	平成23年9月末		平成24年9月末	
	格付あり	格付なし	格付あり	格付なし
0%	-	63,266	-	82,834
10%	-	32,398	-	28,750
20%	51,829	124,370	163,013	55
35%	-	37,022	-	34,718
50%	239	3,853	6,243	3,509
75%	-	40,120	-	40,452
100%	1,111	169,496	2,363	170,094
150%	-	2,854	-	5,463
自己資本控除	-	0	-	-
合計	53,180	473,383	171,620	365,878

- (注) 1.格付は、適格格付機関が付与しているものに限ります。
- 2.エクスポージャーは、信用リスク削減手法適用後のリスク・ウエイトに区分しています。
- 3.リスク・ウエイトの判定に使用する適格格付機関は以下の通りです。
- 株式会社日本格付研究所、株式会社格付投資情報センター、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、スタンダード・アンド・プアーズ

(3)信用リスク削減手法に関する事項

(単位:百万円)

ポートフォリオ	信用リスク削減手法	適格金融資産担保		保証		貸出金と自組合預金の相殺		クレジット・デリバティブ	
		23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末	23年9月末	24年9月末
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー		13,957	10,243	911	1,482	4,653	7,248		
①ソブリン向け		380	404	-	-	1,045	914		
②金融機関および第一種金融商品取引業者向け		-	-	-	-	-	-		
③法人等向け		1,900	1,502	8	10	309	960		
④中小企業等・個人向け		8,310	6,049	211	813	1,570	2,167		
⑤抵当権付住宅ローン		167	140	647	577	426	532		
⑥不動産取得等事業向け		2,864	1,880	41	50	1,118	2,349		
⑦三月以上延滞等		11	6	-	21	0	2		
⑧その他		322	258	2	8	183	321		

- (注) 1.当組合は、適格金融資産担保については、簡便手法を採用しております。保証については、適格格付機関の格付が付与されているもの、国・地方公共団体等に準ずるものを用いております。貸出金と自組合預金の相殺は、担保手続きがなされていない定期預金・定期積金を対象としております。
- 2.上記「保証」には、告示(平成18年金融庁告示第22号)第45条(信用保証協会、農業信用基金協会、漁業信用基金協会により保証されたエクスポージャー)、第46条(株式会社企業再生支援機構等により保証されたエクスポージャー)を含みません。
- 3.「その他」とは、①～⑦に区分されないエクスポージャーです。具体的には、名寄せ後1億円超の先が含まれております。

(4)出資等エクスポージャーに関する事項

①貸借対照表計上額および時価

(単位:百万円)

	平成23年9月末		平成24年9月末	
	貸借対照表計上額	時価	貸借対照表計上額	時価
上場株式等	1,601	1,601	2,506	2,506
非上場株式等	1,872	1,872	1,872	1,872
合計	3,473	3,473	4,378	4,378

- (注) 1.「上場株式」欄の「貸借対照表計上額」は、決算日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づいております。
- 2.「上場株式」欄は、上場株式1,044百万円と、投資信託1,497百万円中で金融機関及び証券会社向けエクスポージャー額35百万円を除いた金額1,462百万円の合計額を時価で記載しております。
- 3.「非上場株式等」欄は、非上場株式227百万円、時価のない出資として全国信用協同組合連合会1,642百万円、および「その他の資産」に含まれるその他の出資金2百万円との合計額を取得原価で記載し時価としております。

②出資等エクスポージャーの売却および償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末
売却益	-	-
売却損	-	-
償却	-	53

(注) 本欄は、株式および投資信託の売却および償却に伴う損益を記載しております。

③貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末
評価損益	△666	△701

(注) 本欄は、「その他有価証券」と区分している、株式および投資信託の評価損益を記載し、貸借対照表上でそれぞれの科目に織り込まれております。

④貸借対照表および損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末
評価損益	-	-

(注) 本欄は、子会社および関連会社の評価損益を記載いたしますが、保有はありません。

(5)金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末
金利ショックに対する経済価値の増減額(コア預金を考慮する)	344	56
金利ショックに対する経済価値の増減額(コア預金を考慮しない)	1,489	409

(注) 当組合は、信用組合業界で構築したSKC-ALMシステムを用いて、金利ショックを99パーセントイル値で測定しております。

# お客様満足度向上への取り組み

## 人にやさしい店舗づくり

### 恵比寿支店を移転開店



当組合では、平成24年9月18日、恵比寿支店を代官山駅にほど近い住宅街へ移転開店しました。

1階店舗には、大信では初となるローカウンターが導入されているほか、店舗内の1階から2階への移動にはエレベーターを利用していただくなど、高齢者の方々へ配慮した店舗設計となっています。



開店セレモニー



多くの方でにぎわう店内の様子

# 地域貢献活動 & トピックス

## 制度融資や信用保証付融資を通じて地元中小企業への支援と地域の活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に推進しております。平成24年9月末日現在の都・区・市制度融資残高は41,671百万円で、総融資残高308,991百万円に占める割合は13.5%となっており、また信用保証付融資残高は64,935百万円で総融資残高に占める割合は21.0%と都内信用組合トップの実績を誇っています。また、緊急保証制度による平成24年9月末日現在の融資残高は23,468百万円（うち震災・災害緊急3,750百万円）に達しております。

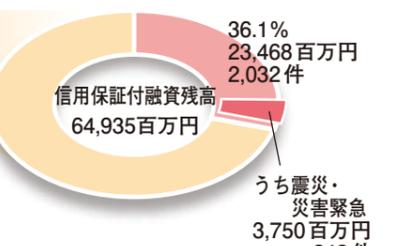
都・区・市制度融資残高割合



信用保証付融資残高割合



緊急保証制度による融資



## (財) あすなろ会に対し50年間にわたり賛助活動を継続

大信は、昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に(財)あすなろ会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなろ会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり50年間支援を継続しております。

(財)あすなろ会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなろ祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動基盤は大信と大信 40 店舗のお取引先 1,000 社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。詳細は(財)あすなろ会ホームページをご覧ください。http://www.asunarakai.org

### 品川支店新装開店

平成24年5月7日南品川出張所を改装後、品川支店と南品川出張所を統合し、品川支店として新装開店しました。



### 目黒支店新築開店予定

目黒支店が装いも新たに、より明るく、より便利に生まれ変わります。開店予定：平成24年12月10日(月)



### 点字ブロック、杖ホルダーの設置

すべてのお客様に安心してご利用いただけるよう、点字ブロックや杖ホルダーを計画的に設置しています。

今後も、バリアフリーを推進し、お客様が利用しやすい店舗づくりに努めます。



平成24年1月15日「祝成人・新年のつどい」



新成人のみなさん

平成24年9月8日「あすなろ祭」



華やかなディズニーリゾート会場風景



劇団「新生ふるきやら」によるアトラクション

きもの着付け教養教室



ゆかた着付けに参加の生徒さん

平成24年5月27日「山中湖ロードレース大会」



晴天のもと一斉スタート

平成24年9月23日日勤協主催「若者を考えるつどい2012」



作文コンクール受賞の飯塚友美さん

# 地域貢献活動 & トピックス

## 講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

### 木村繁石巻商工信組理事長と青山繁晴先生による「第11回合同時局講演会」を開催

平成24年5月9日（水）、創立60周年を迎える大信と創立50周年を迎えるあすなる会の共催による「第11回合同時局講演会」を新宿の京王プラザホテルにて開催しました。

当日は350名のお客様が参加され、木村繁理事長（石巻商工信用組合）には「東日本大震災からの復興・再生と信用組合の役割発揮」と題するご講演の中で、スライドによる津波被害の恐ろしさや、現在の復興状況をご説明いただきました。また、青山繁晴先生（独立総合研究所代表取締役）には、「祖国は甦る～原子力災害・大震災・世界危機からこそ～」と題するご講演をいただき、大変迫力のある話し方で、日本の現状や未来への考え方を切々と訴えられました。

両先生による大変有意義なご講演に、300名を超えるお客様から大好評を得ました。



ご講演の石巻商工信用組合 木村繁理事長  
ご講演の独立総合研究所 代表取締役 青山繁晴先生

### 「しん研」第25回講演会 北原先生の講演が大好評

多摩地域の事業経営者を中心とする「だいしん経営研究会（しん研）」の第25回定例講演会が、平成24年6月13日（水）会員等103名の参加者のもと八王子エルシィにおいて盛大に開催されました。今回は、講師に医療法人社団KNI北原国際病院理事長 北原茂実先生をお招きし『「病院」がトヨタを超える日』と題して、「医療は日本最大の成長産業」、「国民皆保険は保険ではなく目的税で即時撤廃すべき」など、ご自身の体験を生かした先生の目指す医療という名の「産業」の未来像を熱く語っていただき、参加された会員の方々は熱心に聴講されていました。続いて行われた懇親会では、北原先生にも参加いただきなごやかに異業種交流が行われました。



ご講演の医療法人社団KNI 理事長 北原茂実先生

### 第38回大信すえひろ観劇会「北島三郎特別公演」が大好評

平成24年7月10日（火）、第38回大信すえひろ観劇会が明治座を借り切って開催され、1,300名のお客様が「北島三郎特別公演」の舞台を楽しまれました。開演前の主催者挨拶では、安田理事長より日頃のご愛顧に対するお礼と大信の業況報告、一幕後の幕間のおたのしみ抽選会では、70名様に「特別すえひろ賞」が贈呈され楽しい会となりました。

大信すえひろ観劇会は、年金の受け取りを大信にご指定いただいているお客様の会で、年1～2回実施しております。



北島三郎さんへ花束贈呈後記念撮影する  
戸越支店の松沢麗子様と安田理事長

### 大信特選ふれあい旅行”下呂温泉「水明館」の旅”が大好評

創立60周年記念の一環として「大信特選ふれあい旅行」を、4月9日（月）～4月25日（水）の期間に10班編成バス38台で、全店舗から1,296名のお客様の参加をいただき実施されました。

今回の旅行は、下呂温泉「水明館」（2011年版プロが選んだ日本のホテル旅館百選で第7位）を選定し、“水引の郷”山都飯田で昼食・見学や下呂温泉「水明館」での趣向を凝らした宴会等でお楽しみいただき大好評のうちに終了いたしました。

大信ふれあい旅行は、皆様との心ふれあうおつきあいを大切に年1回実施しております。



大信特選ふれあい旅行を楽しむお客様

## 経営情報・地域情報を永年にわたり提供

### 都内中小企業景況調査結果を31年間にわたり経営情報として提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て昭和56年から31年にわたり毎年5月と11月の2回（通算62回）都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種853社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。調査結果は都内23区と多摩地区に分け地域性を反映する形としております。



### 「大信ふれあいニュース フロイデ」を発行し地域情報として提供



「大信ふれあいニュース フロイデ」は、地域やお客様のご紹介・PRなど身近な情報紙として年2回（6月・11月）発行しており、昭和29年の創刊以来185号を数えます。1・2面では大信40店舗の近隣商店街の歴史やイベント、案内図などをシリーズで紹介・PRするコーナー、3・4面は「あなたのご近所から」「ふれあい伝言板」と題するコーナーで、地域の行事や地元の名店のご紹介など地域情報を提供しております。

## 各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

### 高円寺支店

昭和43年以来毎年8月に行われる氷川神社例大祭に、地元高円寺南中央町会の一員として支店長以下男性職員が御神輿の担ぎ手として参加しております。



### 富士見台支店

富士見台商栄会において実施された感謝祭イベントに、平成24年7月29日には当店職員もイベント会場の受付等で参加し、地域貢献活動の一環として協力させていただきます。



### 石川支店

当店ロビーの一部に掲示板コーナーを開放し、地元の憩いの場として色々な作品を展示しています。写真は「和紙ちぎり展」の様です。



### 保谷支店

地元商店街「商愛会」主催で毎年7月下旬の土・日に開催される愛染稲荷神社夏の例大祭（於：いずみ児童遊園）に、職員全員が山車の引き手として参加しております。



### 十条支店

北区まちづくり部を中心として、王子警察署、JR十条駅、町会と大信が一体となり、十条駅周辺的美観維持と交通安全のため、平成14年より十条駅周辺の放置自転車防止キャンペーンを実施しています。



### 青山支店

毎年恒例の熊野神社秋期例大祭が9月30日（日）に行われ、地元町会の一員として、青山支店全職員が御神輿の担ぎ手として参加しております。



### 新小岩支店

平成24年9月21日（金）秋の交通安全週間の一環として、当店職員3名が東新小岩5丁目町会内の交差点において交通整理を行ない、子供たちの安全を守りました。



### 東大和市支店

平成24年7月7・8日に、地元富士見通り商栄会主催の「七夕祭」が開催され、当店では日頃の感謝の気持ちを込めて、駐車場にカキ氷店を出店し、子供たちをはじめたくさんの方で賑わいました。



# 都内にひろがる店舗・サービス網



## 店舗一覧

〔自動化コーナー(ATM) — 平日は全店舗稼働しております。休日等の稼働については次のとおりになっております。〕  
 ●印店舗—土・日・祝日・年末日稼働、◎印店舗—土・日・年末日稼働、○印店舗—土・年末日稼働  
 (祝日稼働は、お正月の1月1日～3日とゴールデンウィークの5月3日～5日を含みます。)

(平成24年11月1日現在)

本 部	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	☎03(3436)0111(代)	○ 駒 沢 支 店	〒154-0012 世田谷区駒沢3-22-1	☎03(3414)0151(代)
● 本店営業部	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	☎03(3436)0121(代)	○ 大 井 支 店	〒140-0014 品川区大井1-23-7	☎03(3773)1536(代)
○ 品川駅東口支店	〒108-0075 港区港南2-3-1	☎03(3474)8326(代)	○ 東大井出張所	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	☎03(5493)1911(代)
● 十条支店	〒114-0034 北区上十条2-31-1	☎03(3907)5111(代)	○ 大 森 支 店	〒143-0015 大田区大森西3-19-12	☎03(3765)1011(代)
○ 目黒支店	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	☎03(3711)5656(代)	● 八王子営業部	〒192-0081 八王子市横山町24-1	☎042(642)0201(代)
● 高円寺支店	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	☎03(3318)1111(代)	◎ 中野山王出張所	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	☎042(626)4111(代)
○ 亀戸支店	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	☎03(3685)3351(代)	○ 日 野 支 店	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	☎042(582)2121(代)
○ 蒲田支店	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	☎03(3732)3221(代)	○ 西 八 支 店	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	☎042(661)6221(代)
○ 日暮里支店	〒116-0014 荒川区東日暮里5-10-3	☎03(3802)8181(代)	○ 石 川 支 店	〒192-0032 八王子市石川町522-4	☎042(646)3011(代)
○ 新宿支店	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	☎03(3356)2151(代)	○ 青 山 支 店	〒107-0061 港区北青山2-12-32	☎03(3401)0145(代)
○ 三軒茶屋支店	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	☎03(3424)3181(代)	● 保 谷 支 店	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	☎03(3924)3311(代)
○ 新小岩支店	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	☎03(3691)9536(代)	○ 立 川 支 店	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	☎042(524)6681(代)
● 大塚支店	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	☎03(3918)6411(代)	○ 堀ノ内支店	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	☎03(3311)1141(代)
○ 銀座支店	〒104-0061 中央区銀座2-10-18	☎03(3542)8051(代)	● 三 鷹 支 店	〒181-0013 三鷹区下連雀3-35-1	☎0422(48)2311(代)
○ 吉祥寺支店	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10	☎0422(22)9221(代)	○ 東大和支店	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	☎042(567)2011(代)
● 恵比寿支店	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	☎03(3463)0561(代)	◎ 上北台出張所	〒207-0023 東大和市上北台2-892-3	☎042(562)1581(代)
○ 常盤台支店	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	☎03(3969)2535(代)	○ 荻 窪 支 店	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	☎03(3391)1931(代)
● 戸 越 支 店	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	☎03(3786)5121(代)	● 富 士 見 台 支 店	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	☎03(3999)7163(代)
○ 府 中 支 店	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	☎042(363)7511(代)	八 丁 堀 支 店	〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1	☎03(3552)7811(代)
○ 押 上 支 店	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	☎03(3625)5001(代)	店舗外ATM(無人)		
● 田町駅前支店	〒108-0014 港区芝5-16-2	☎03(3453)3201(代)	● 京浜蒲田出張所	〒144-0052 大田区蒲田4-5-7	
● 荏原町駅前支店	〒142-0053 品川区中延5-1-1	☎03(3786)8161(代)	○ 十条銀座出張所	〒114-0031 北区十条仲原1-5-9	
○ 福 生 支 店	〒197-0011 福生市福生1004	☎042(553)0611(代)	○ 平塚橋出張所	〒142-0051 品川区平塚3-16-31	
● 品 川 支 店	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	☎03(3474)1333(代)	信用組合会館出張所	〒104-0061 中央区京橋1-9-1	
○ 西蒲田支店	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	☎03(3738)1106(代)			

## お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客様からのご相談やお問い合わせなどに真摯にお応えできるよう態勢整備に努めております。大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部にお客様とのホットラインの役目を担う「お客様相談室」フリーダイヤル(一般のご相談: 0120-402-003)(金融円滑化専用: 0120-020-838)を設置してお客様からのご相談やお問い合わせなどに真摯に対応できる態勢を整え、安心してお取引いただけるようお客様との信頼関係強化に努めております。